

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年6月24日

評価対象事業		評価者	駅周辺整備課長 林 浩一		
まち-01	重点事業	古都中心市街地整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	駅周辺整備課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針	市街地整備の推進	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。
効果	鎌倉駅西口駅前広場等の整備を進め、多くの市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の玄関口の創出を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉駅西口時計台広場の暫定的整備に向け、平成29年度に策定した基本設計を踏まえ、平成30年度は実施設計を行う中で、ベンチ等占有物の具体的な配置場所を決定するとともに、整備工事費積算業務を実施した。 鎌倉駅西口時計台広場の暫定的整備に向け、権利者との調整及び関係機関との協議を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯		
	事業の対象者数			事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	3,780	5,634	当初予算(千円)	48,827		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債	33,700		
	その他			その他			
	一般財源	3,780	5,634	一般財源	15,127		
事業運営	人員配置数	1.7	2.0	人員配置数	2.1		
	人件費(千円)	12,956	15,128	人件費(千円)	16,510		
	総事業費(千円)	16,736	20,762	総事業費(千円)	65,337		
	市民1人当りの経費(円)	95	118	市民1人当りの経費(円)	370		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	全体計画となる鎌倉駅西口周辺整備は、一部権利者の合意が得られておらず、当面、事業実施は困難であるが、令和2年度開催の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、令和元年度に鎌倉駅西口時計台広場を暫定的に整備することに伴い、今後、事業の進捗に合わせて一定の費用が必要となるため。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>・「鎌倉駅西口周辺まちづくり基本計画」に基づき、鎌倉駅西口駅前交通広場を中心とした整備と建物共同化事業の検討を進めてきたが、一部権利者からの反対で事業が止まっている。反対権利者への調整は継続しているが、合意への見通しは立っておらず、現在に至っている。</p> <p>・このため、令和2年度の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、観光客と市民とが共存できる快適な空間を整えるため、令和元年度に鎌倉駅西口時計台広場の再整備を行うこととしているため、予算規模の方向性はAとした。</p> <p>・全体計画となる鎌倉駅西口周辺整備については、権利者の状況及び周辺の変化を勘案し、事業手法を研究していく必要がある。</p>
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	全体計画となる鎌倉駅西口周辺整備については、継続的に権利者調整を進めているが、一部権利者とは合意への見通しは立っていない。 鎌倉駅西口時計台広場の暫定的整備にあたっては、整備に必要な全ての用地取得を検討しているが、権利者からの同意は得られていないため、引き続き、交渉を継続していく必要がある。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	全体計画となる鎌倉駅西口周辺整備については、継続的に権利者調整を進めているが、一部権利者とは合意への見通しは立っていない。 鎌倉駅西口時計台広場の暫定的整備に向け、権利者への情報提供を行うとともに、平成29年度に策定した基本設計を踏まえ、平成30年度は実施設計を行う中で、ベンチ等占有物の具体的な配置場所を決定するとともに、整備工事費積算業務を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	全体計画となる鎌倉駅西口周辺整備については、継続的に権利者調整を進めているが、一部権利者とは合意への見通しは立っていない。鎌倉駅西口時計台広場の暫定的整備にあたっては、整備に必要な全ての用地取得を検討しているが、権利者からの同意は得られていないため、引き続き、交渉を継続していく必要がある。 令和元年度は鎌倉駅西口時計台広場整備工事を行う予定であり、年度内の供用開始を目指す。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	関係権利者との合意形成の進捗度						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				権利者 36人 賛成者 13人
事業実施に向けて、関係権利者との合意形成が必要不可欠であるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	36.1	36.1	36.1	36.1	36.1					
	達成率	36.1%	36.1%	36.1%	36.1%	36.1%					

指標の内容	鎌倉駅西口時計台広場の暫定整備の進捗度						単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				H29：基本設計実施 H30：実施設計実施 R01：整備工事の完了
東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、鎌倉駅西口時計台広場の再整備を行うこととしたため。	目標値	—	—	—	30.0	60.0	100.0				
	実績値	—	—	—	30.0	60.0					
	達成率				100.0%	100.0%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	令和元年度は鎌倉駅西口時計台広場整備工事を行う予定であり、年度内の供用開始を目指す。										
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--